

市町村名 与那国町

令和元年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	与那国町観光地整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成29~33年度	過疎・離島地域の振興
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(1)

事業内容 利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「サンニヌ台」「西崎展望台」「東崎展望台」「ティンダバナ展望台」(景勝地)の充実を図り整備実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(4年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		R1年度	R1年度(繰越)		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				
	(a) 当初予算額	6,501	6,501		
	(b) 予算現額	6,501	6,380		
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 121		
	(d) 繰越額	0	-		
	A. 計(b+d)	6,501	6,380		
	B. 執行済額	0	6,380		
	うち交付金充当額	0	5,104		
	次年度繰越額	6,501	0		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明	繰越理由は当初計画していた設計の変更に伴い予算及び調整に不測の日数を要したことから、年度内での完了が困難となった。 ・予算額については、不用額が生じているもの事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

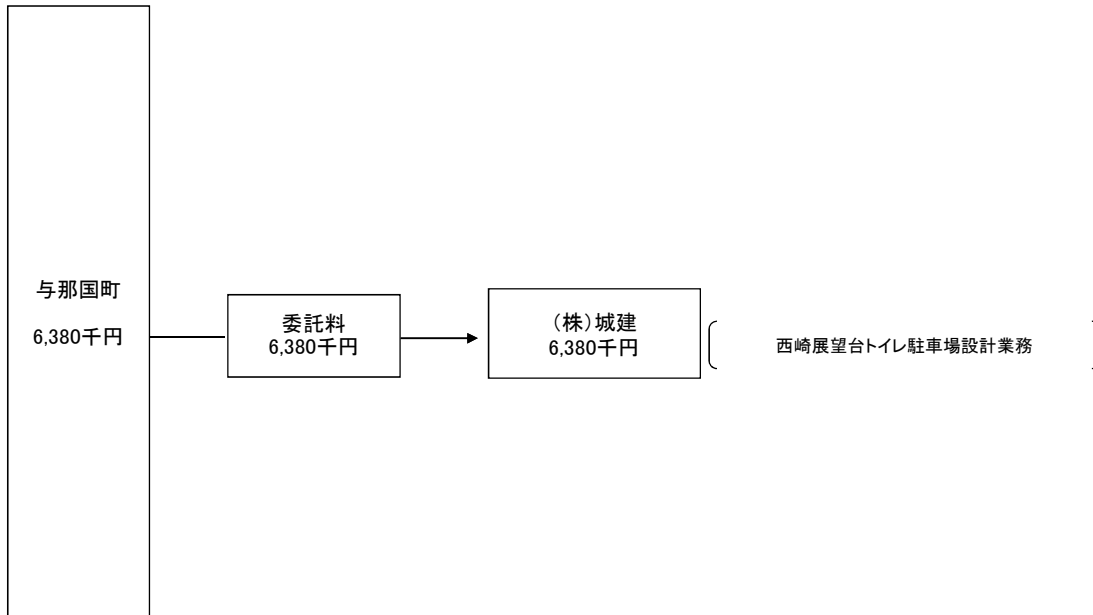
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		R1年度(繰越)			
		目標	(実施設計)		()
実施設計	目標	(実施設計)			()
	実績	設計完了			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	実施設計完了				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度(繰越)			
		目標	()	(実施設計)		
		実績		設計完了		
	目標					
	進捗状況説明	実施設計完了				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	建築にあたって速やかに着手すると共に併せて、建設後、利用者(観光客等)へ利便性及び安定した設備提供に努める。	利用者(町民、観光客)等幅広い範囲でアンケート等の調査を行い利便向上に努めることによって観光地の利便性及び誘客促進に繋げられる。
今後の取り組み方針		
早期建築着手を目指すと共に完成後、利便性及び観光客等への満足度向上を図り、誘客促進に努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,380	6,380	5,104	1,276	



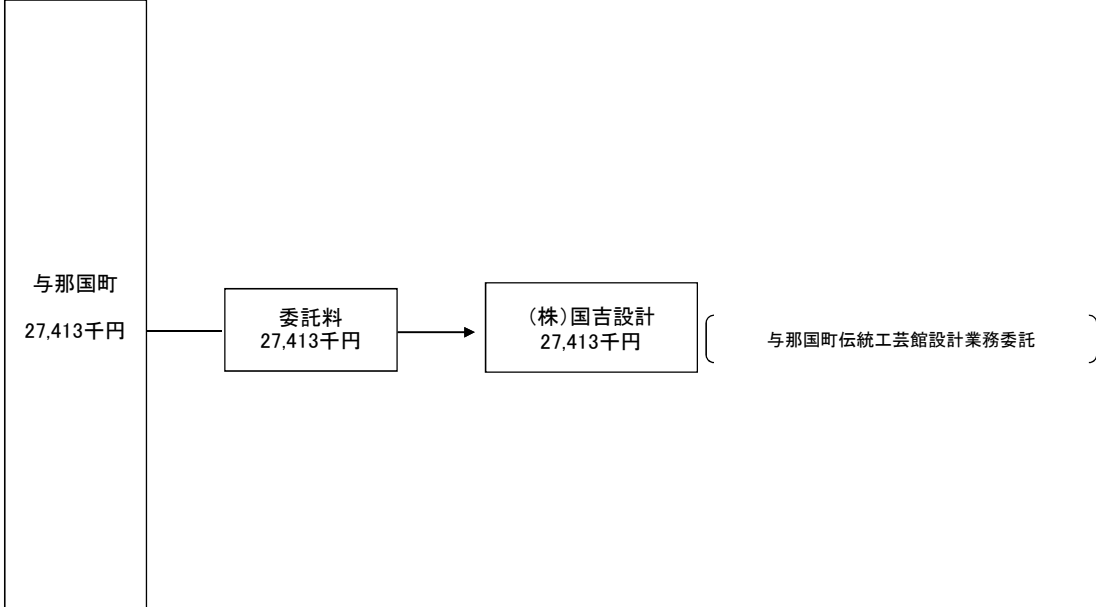
資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正規模だと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町					
令和元年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-①	与那国町工芸館施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ	
担当部課名	企画財政課	事業実施（予定）年度	平成29～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	過疎・離島地域の振興	
事業内容	約500年の歴史がある「花織り」は本町を代表する伝統工芸品の一つであるが、その知名度は県内はもとより、県外でも低いのが現状である。また、後継者育成やPR情報発信等、織物体験など取り組むための拠点となる基盤づくりの強化が課題となっている。そこで、本町商工振興に伴い、観光客や来島者の方々へより充実したおもてなしと安心して利用できる環境を提供するため施設整備を実施する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（4年度）					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R1年度	R1年度（繰越）			
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,000	30,000		
		(b) 予算現額	30,000	26,400		
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 3,600		
		(d) 繰越額	0	-		
		A. 計 (b+d)	30,000	27,413		
	B. 執行済額		0	26,400		
	うち交付金充当額		0	21,930		
	次年度繰越額		30,000	0		
	執行率（%）(B/A)		0.0%	96.3%		
予算の状況の説明		繰越理由は予定地の見直し（位置、境界線等含む）及び確認及び調整に不測の日数を要したことから、完了が困難となった。 ・予算額については、不用額が生じているものの事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				
活動目標（指標） 及び達成状況	R1活動目標（指標）		達成状況			
			R1年度（繰越）			
	伝統工芸館実施設計	目標	（ 実施設計 ）			（ ）
		実績	設計完了			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
実績						
達成状況説明	実施設計完了					
成果目標（指標） 及び進捗状況	R1成果目標（指標）		基準値（年度）	R1年度（繰越）		
	伝統工芸館実施設計	目標	（ ）	（ 実施設計 ）		
		実績		設計完了		
		目標				
進捗状況説明	実施設計完了					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	建築にあたって速やかに着手すると共に併せて、指定管理者(織物組合予定)と開館後の運営方針等踏まえながら調整等が必要。	開館後の利用促進するため指定管理者と協議をし方針を再度確認し体制強化を図り誘客促進に繋げる。
今後の取り組み方針		
早期建築着手を目指すと共に町民のみならず観光客等も取り入れた利用率向上を図り誘客促進に努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,413	27,413	21,930	84,823	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正規模だと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	